

<前提条件> C/S Bridge(Web版)

1. 実行環境

1-1. サーバー

① WebサーバーをPower Systems (IBM i) で稼働させる場合

- ・ Power Systems (IBM i) (アプリケーションサーバー + DBサーバー + Webサーバー)

ハードウェア	ディスク 200MB 以上	
	TCP/IPをサポートする通信アダプター	
ソフトウェア	Web版Java、Web版RESTAPIの動作環境	
	OS	IBM i 7.3※4, IBM i 7.4, IBM i 7.5
	Webアプリケーションサーバー	・WebSphere Application Server 8.5 ※1 ・WebSphere Application Server 8.5.5 ※1 ・WebSphere Application Server 9.0 ※1 ・Apache Tomcat 7.0 (64 bit) (Web版RESTAPIの場合) ・Apache Tomcat 8.5 (64 bit) (Web版RESTAPIの場合) ・Apache Tomcat 9.0 (64 bit) (Web版RESTAPIの場合)
	Java	・IBM Developer Kit Java 7.0 (WAS 8.5、8.5.5、Tomcatの場合) ※2 ※3 ・IBM Developer Kit Java 8.0 (WAS 8.5.5、9.0、Tomcatの場合) ※2 ※3

- ※1) 対応するエディションは、ライセンス数に応じたものをご利用下さい。また、32bit/64bitに関してはWindows OSに準じます。
※2) 対応するバージョンは、導入するWebSphere Application Serverのバージョンによります。詳しくは、WebSphere Application Serverの発表レター等を参照下さい。
※3) 対応するバージョンは、導入するIBM iのバージョンによります。詳しくは、IBM iの発表レター等を参照下さい。
※4) IBM i7.3のサポートは2025年9月30日に終了予定です

<前提条件> C/S Bridge(Web版)

②WebサーバーをPower Systems (IBM i) 以外で稼働させる場合

・ Power Systems (IBM i) (アプリケーションサーバー + DBサーバー)

ハードウェア	ディスク 200MB 以上 TCP/IPをサポートする通信アダプター
ソフトウェア	IBM i 7.3※6, IBM i 7.4, IBM i 7.5

・ Power Systems (IBM i) 以外 (Webサーバー)

ハードウェア	2.8GHz 以上の Pentium プロセッサ メモリー 3GB 以上 ディスク 40GB 以上	
ソフトウェア	Web版Java、Web版RESTAPIの動作環境	
	OS	・Windows Server 2016 (日本語以外のOS、およびServer Coreインストールを除きます) ・Windows Server 2019 (日本語以外のOS、およびServer Coreインストールを除きます)
	Webアプリケーションサーバー	・WebSphere Application Server 9.0 ※1 ・Apache Tomcat 7.0 (64 bit) ※4 ※5 ・Apache Tomcat 8.5 (64 bit) ※4 ※5 ・Apache Tomcat 9.0 (64 bit) ※4 ※5
	Java	・IBM Developer Kit Java 7.0 (WAS 9.0の場合) ※2 ※3 ・IBM Developer Kit Java 8.0 (WAS 9.0の場合) ※2 ※3 ・AdoptOpenJDK 8 (64bit) ※4 ※5
	Web版ASP.NETの動作環境	
	OS	・Windows Server 2016 (日本語以外のOS、およびServer Coreインストールを除きます) ・Windows Server 2019 (日本語以外のOS、およびServer Coreインストールを除きます)
	Webアプリケーションサーバー	・Microsoft Internet Information Services 10.0 (Windows Server 2016、Windows Server 2019の場合)
Microsoft .NET Framework	・Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 ・Microsoft .NET Framework 4.5.2以降 (動作対象のOSの最新のパッチが当たっている状態を対象とします)	

※1) 対応するエディションは、ライセンス数に応じたものをご利用下さい。また、32bit/64bitに関してはWindows OSに準じます。

※2) 対応するバージョンは、導入するWebSphere Application Serverのバージョンによります。詳しくは、WebSphere Application Serverの発表レター等を参照下さい。

※3) 対応するバージョンは、導入するIBM iのバージョンによります。詳しくは、IBM iの発表レター等を参照下さい。

※4) Apache TomcatおよびAdoptOpenJDKを使用する場合、利用できる機能が一部制限されます。FTPクラス、AS/400スプールファイルのPDF変換クラスは使用できません。

※5) 記載している以外のバージョンの使用についてはご相談下さい。

※6) IBM i7.3のサポートは2025年9月30日に終了予定です

<前提条件> C/S Bridge(Web版)

1-2. クライアントPC

ハードウェア		メモリー 256MB 以上		
		空きディスク容量 100MB 以上		
プロトコル		TCP/IP		
ソフトウェア	Windows OS	8.1※1 32/64bit	10 32/64bit	11 64bit
	Internet Explorer	11	11	Edge
	その他	Adobe Acrobat Reader 5.0以降		

※1) Windows8.1のサポートは2025年9月30日に終了予定です

<前提条件> C/S Bridge(Web版)

2. 開発環境

・ホスト側サンプル

ソフトウェア	IBM i 7.3※3 , IBM i 7.4, IBM i 7.5
	ILE RPG, ILE COBOL

・Web版Javaサンプル

ハードウェア	CPU 2GHz 以上
	メモリー 2GB 以上
	ディスク 30GB 以上
ソフトウェア	Java7.0(JDK7.0) , Java8.0(JDK8.0)
	Rational Application Developer for WebSphere ※1

・Web版ASP.NETサンプル

ハードウェア	CPU 2GHz 以上
	メモリー 2GB 以上
	ディスク 30GB 以上
ソフトウェア	・Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 ・Microsoft .NET Framework 4.5.2以降
	Visual Studio 2012 , Visual Studio 2013 , Visual Studio 2015 , Visual Studio 2017 , Visual Studio 2019 ※2

※1) 対応するバージョンは、使用するWebSphere Application Serverのバージョンによります。詳しくは、WebSphere Application Serverの発表レター等を参照下さい。

※2) 対応するバージョンは、Visual Studio、.NET Frameworkのシステム要件等をご参照ください。

※3) IBM i7.3のサポートは2025年9月30日に終了予定です

変更履歴

	日付	変更内容
初版	2018/10/1	新規作成
1.1	2019/1/23	WAS8.0以下、Java6.0(JDK6.0)を対象から除外しました。
1.2	2019/4/1	Apache Tomcat、AdoptOpenJDKを実行環境の動作対象に追加しました。 これに伴い、開発環境の動作対象にEclipse IDEを追加しました。
1.3	2019/12/1	Web版RESTAPIおよびWeb版ASP.NETの前提条件を追加しました。 IBM Developer Kit Java7.0の動作対象からWAS9.0を除外しました。
1.4	2021/6/1	IBM i 7.1を対象から除外しました。 Windows Server 2008を対象から除外しました。
1.5	2023/3/1	IBM i 7.5を対象に追加しました。 2023年9月30日をもって、IBM i 7.2、Windows Server 2012 R2が対象から除外となります。
1.6	2025/4/20	Windows11を対象に追加しました。 2025年9月30日をもって、IBM i 7.3、Windows8.1が対象から除外となります。